

日時：2016年12月17日～18日
場所：香川県・小豆島 かつや旅館

4回生の卒業課題「地域の特産品を使った工作を通じた地域住民との交流」を企画・実施しました。

12月17日と18日の両日、4回生の卒業課題として「4回生企画ツアーin小豆島～みんな仲よし横見ゼミ、、最高かよ！！！！～」を実施しました。今回は4回生が卒業するにあたり、これまでのフィールドワークゼミの集大成として、(あらかじめクライアントが用意されていない)全くゼロの状態から作り上げるという課題が先生から与えられました。

ゼミの課題である「観光を通じた地域活性化」を実現するために、学生たちが自分たちの力でフィールドを探してくるところから着手しました。はじめに、取り組みのコンセプトを策定するために、これまで学んできたことに加えて、観光に関する書籍などを通じて学習を重ねました。その結果、取り組みのコンセプトを「交流」としました。地域の方々との幅広い交流を生み出すことで観光を活性化するきっかけづくりを実施することで一致しました。そして、取り組みのフィールドとしては、旅行会社の方へのヒアリングなども通じて、いま観光の面で非常に伸びている「小豆島」を選定しました。この小豆島を舞台に、新たな特産品を生み出して、地域活性化のきっかけづくりをすることになりました。

この取り組みでは、4回生が2回生と3回生を「お客様」と見立てたうえで、ツアーという形で引率をして、現地での交流促進を目指しました。

ツアー1日目では、小豆島はオリーブが有名で、クリスマスが近いということから、宿泊先である「かつや旅館」の広間をお借りして、オリーブの枝、葉、実を使い学生と地域の方でオリジナルのクリスマスツリーを作ることを企画しました。そのために、2度にわたり、現地を訪問し、小豆島観光協会、小豆島オリーブ公園、かつや旅館の皆様と交渉を重ねて協力を得ることができました。

集客に関しては、事前に観光協会、オリーブ公園、かつや旅館に集客ポスターを貼っていただきました。さらに、クリスマスツリーの材料となるオリーブの枝、葉、実の採集も事前に実施しました。ですが、当日は、地域住民の方の参加者はひとりもいませんでした。これは集客方法の工夫が十分でなかった反省点です。しかし、学生にとっては、久しぶりの工作ということで、みんな無我夢中に取り組んでくれてすごく嬉しかったです。学生同士の仲が更に深まったのではないかと思います。



▲クリスマスツリー作成の様子

※紐を使って組み立てたオリーブの小枝に毛糸を巻き付け、さらにオリーブの葉や南天の実などでデコレーションします



▲完成したクリスマスツリー

ツアー2日目では、学生同士の交流を目的として、朝早くからラジオ体操を行い、その後はかつや旅館の体育館をお借りし、運動会を実施しました。ラジオ体操では、朝早く寒い中、浜辺に集合し、みんな元気に動いてくれました。運動会では、その種目として、「ゆうたんウルトラクイズ」、「なんちゃってパン食い競争」、「オリジナル組体操」、「リレー」といった学生同士の交流が深まるプログラムを準備しました。どの競技も普通とは少し違う学生のオリジナリティーが溢れていて、笑いもありとても楽しかったです。みんな全力で取り組んでくれました。



▲運動会の様子



▲ラジオ体操の様子

今回企画に行き詰って、一週間しか集客期間がなく、交流がテーマにもかかわらず参加者が一人も来なかった。一つのことにとらわれず、即座に切り替えの判断ができればこのような事態は免れたのではないかと

と思います。しかし、結果はどうかあれ、ゼミ生みんなが「楽しかった、ありがとうございます」と言ってくれたので、やって良かったなど四回生一同共に思いました。

「**最高かよ!!!**」

【文責：商学科4回生 北村勇太】

